

LESS is MORE

完全版
知ってる？

これからの家づくり

読本



SIMPLE NOTE

これからの家づくり読本

プロローグ

急速に進むインフレを解消すべく、
昨今、賃上げが声高に叫ばれていますが、
コロナ以降の物価急騰を加味すると、
報道されている5%程度の賃上げでは
全く生活の足しにならないというのが、
現実ではないでしょうか。

毎月の出費を見る限り、食料品にせよ、衣料品にせよ、
確実に10%以上は上がっているし、
こと家に関しては10%どころか、
20~25%ほど上がっていますしね。

ずいぶんとウッドショックによる
木材価格高騰が落ち着いてきた現状でも、です。
そんなわけで、今家を建てようという方は、
コロナ前に建てた方に比べて
毎月の返済負担が2~3万円ほど確実に上がっているのですが、
これを受けて個人的には、家づくりの考え方や進め方を
これまでとは大きく変えた方がいいと考えています。
現在のインフレが起こる前までは、

アパートやマンションの家賃と同じか
あるいは少し足せば手が届くという存在だったマイホームが
そうじゃなくなってしまった上、
家とは切っても切り離せない電気料金も
過去に建てた方より確実に負担が大きくなっていますよね。
では、これから家を建てる方は
何をどのようにしていけばいいのか？ということになりますが、
例外なく全ての方が取り組むべきことは

- ・ **金融知識をつけ今後に備える**
- ・ **少しでも家づくりのコストを圧縮する**

この2つです。

✓ 金融知識をつけないといけない理由

この理由は、これまで当たり前とされていた
金融知識をもとに暮らしていったのでは
今後、生活苦になる可能性が、以前に比べて
圧倒的に高くなったからです
今後もインフレが続くとすると
手元にある現預金の価値は落ちていく一方ですし、
現在のように賃金が上がらない中、
物価高ばかりが進行していくと
貯金をする余裕すらなくなってしまい、

将来に備えることが出来なくなり、
不安ばかりが増大していくのは、
火を見るよりも明らかなことですね。
ゆえ、これまでの常識である
「貯金＝銀行預金」「保険に手厚く入る」
「投資は危険だからしてはいけない」
という間違った知識を全て一掃した上で
家づくりに取り組んでいただきたいと考えています。

要するに

「貯金は銀行にはしない」
「基本、保険には入らない」
「投資は早い段階から始める」
というマインドに切り替えた上で
家づくりに取り組んでくださいということですね。

✓家のコストを圧縮すべき理由

この理由は、少しでも家計の中の固定費を減らし
その資金を長期積立投資に回していただきたいからです。
仮に、家づくりにかける費用を毎月2～3万円
減らすことが出来、その資金を長期積立投資に退職するまで
回すことが出来た方と、全く削らず長期積立投資がずっと
出来ないまま過ごした方とでは、